

2011年 12月5日	日仏社会学会ニュース	No. 34 日仏社会学会事務局
----------------	-------------------	---------------------

<記事>

1. 2011年度日仏社会学会総会から

- 1) 総会における決議事項 2) 会務報告 3) 2010年度決算並びに2012年度予算
4) 日仏社会学会奨励賞受賞者の紹介

2. 日仏コロークについて

3. 会員業績の年報掲載について

4. 『日仏社会学会年報』(第23号)への投稿論文等の募集について

(*) 締め切り日の変更に、注意してください。

5. 「日仏社会学会奨励賞」候補の募集

6. 新入会員の紹介

7. 会費納入のお願い

1. 2011年度日仏社会学会総会から

10月22日(土)に日仏会館において、日仏社会学会総会が開催されました。

1) 総会における決議事項

- ①2010年度会務報告並びに同年度会計報告を承認(各別掲)
②2012年度事業計画並びに予算案を承認(各別掲)

2) 2010年度会務報告(2010年1月～2011年3月)

2010年

1月23日(土): 第2回 社会学系コンソーシアム・シンポジウム「日本の社会福祉学・社会学の国際化に向けて」に参加。日仏社会学会報告「国際化と社会学の言語 ―日仏学術交流の経験から―」(荻野昌弘会長)。

2月24日(水): 研究例会 日仏コロークに向けて

- | | |
|----------------|--|
| 1 現代日本における死の文化 | 嶋根克己(専修大学文学部・教授) |
| 2 追憶する社会 | 山 泰幸(関西学院大学人間福祉学部・准教授) |
| 3 アニメ文化 | 雪村まゆみ(関西学院大学先端社会研究所・RA) |
| 4 文化産業 | 清水強志(専修大学・非常勤講師)・
佐藤 和雄(創価大学通信部非常勤インストラクター) |
| 5 暴力の文化的諸類型 | 松浦雄介(熊本大学文学部・准教授) |
| 6 暴力と贈与 | 岡崎宏樹(京都学園大学人間文化学部・准教授) |

3月31日(水): 『日仏社会学会年報』19号発行

5月10日（月）：『日仏社会学会ニュース』第31号を発行

7月31日（土）：理事会（日仏社会学会年報の規約の修正、日仏社会学会年報のウェブ化、奨励賞、功労賞、大会シンポジウム、コローク）（於日仏会館会議室501号室）

：研究例会 杉本隆司（羽衣国際大学）

「18世紀異教主義と宗教社会学の形成」

司会 長谷川秀樹（横浜国立大学）（於同上）

11月13日（土）：2010年度日仏社会学会大会・総会開催（於 東洋英和女学院大学）

：理事会（日仏社会学会会務報告、会計報告、2011年度予算案、年報、大会、コローク、ホームページ）（於東洋英和女学院大学六本木校地 会議室203号室）

12月3日（金）：『日仏社会学会ニュース』第32号を発行

2011年3月31日（木）：『日仏社会学会年報』20号発行

3) 2010年度決算並びに2012年度予算

2010年度会計<2010年1月1日－2011年3月31日>

(単位：円)

収入の部		支出の部	
繰越金	727,901	印刷費	464,715
入会金	7,000	通信費	43,170
年会費	427,000	事務用品費	4,210
受取利息	150	交通費補助	140,810
雑収入	22,500	雑費	44,335
		バイト代	15,750
		ホームページ	0
合計	1,184,551	繰越金 合計	471,561 1,184,551

〈次年度繰越金〉

預金の部	銀行口座（三井住友銀行）	340,450
	郵便振替口座	2,700
現金の部	事務局預かり	128,411
計		471,561

2011年度予算案<2011年4月1日－2012年3月31日>

(単位：円)

収入の部		支出の部	
繰越金	500,000	印刷費	250,000
年会費	420,000	通信費	50,000
雑収入	20,000	事務用品費	10,000
		交通費補助	140,000
		アルバイト代	30,000
		ホームページ	25,000
		雑費	90,000
		予備費	345,000
合計	940,000	合計	940,000

注記：繰越金額は2010年度末までの入金状況および出金状況を勘案した見込みです。

〈2012年度事業計画〉

1. 2012年度日仏社会学会大会の開催
2. 『年報』第23号の刊行
3. 研究例会の開催
4. その他

4) 日仏社会学会奨励賞受賞者の紹介

総会にて、伊達聖伸氏（上智大学・准教授）が、『ライシテ、道徳、宗教学 もうひとつの19世紀フランス宗教史』（勁草書房）によって、日仏社会学会奨励賞（著書・翻訳書の部）を受賞され、懇親会において授与式が行われました。

2. 日仏コロークについて

国際交流基金の助成を得て、11月3日－4日の日程で、パリの社会科学高等研究院にて、日仏コロークを開催いたします。

した。26名の参加があり、現代社会における文化の問題について、多様な視点で議論されました。参加者にアンケートを行ったところ、回答者17名のうち、コロークに対する満足度は、12名が「とても満足」、5名が「満足」と回答、コロークの意義については、13名が「とても意義がある」、4名が「意義がある」と回答しました。コロークについてのアンケート結果は、日仏社会学会HPでも公開していますので、ご覧ください。

なお、各報告の内容は、2012年3月に刊行予定の『日仏社会学年報第22号』に掲載されます。

3. 会員業績の年報掲載について

日仏社会学会では、日仏社会学に関連する会員の業績を募集し、毎年刊行の『日仏社会学年報』にて紹介しております。

送付締め切り：2011年12月31日（必着）

2011年1月1日～12月31日までに発行された業績5点まで（論文、報告書、翻訳）。

業績の記載方法：編集の都合上、『社会学評論』のスタイル・ガイド、「文献」記載方法の通りでお願いします。（フォントは10.5、文字のスタイルはMS明朝とCentury）

（単著の本） 著者名，出版年，『タイトル—サブタイトル』 出版社名。

（共著の本） ファーストオーサー氏名・共著者名，出版年，『タイトル』 出版社名。

（編著論文） 著者名，出版年，「論文タイトル」 著者名編『本のタイトル』 出版社名。

（雑誌論文） 著者名，出版年，「論文タイトル」『雑誌名』 巻（号）：論文のページ（例315-505）。

（翻訳書・翻訳論文） 原典書誌情報（＝翻訳の出版年，訳者名訳『訳書のタイトル』 出版社名。）

送付の方法：Eメール。ご送付の際には、お名前とご所属もお伝えください。

送付先：kondo@fhw.oka-pu.ac.jp（岡山県立大学、近藤理恵宛／電話番号：0866-94-2192）

また、日仏社会学年報に著書、翻訳書（共著、共訳可）の書評を掲載されたい学会員は、日仏社会学会編集委員会まで、メールで、ご氏名、著書名ないしは翻訳書名、出版年、出版社名をお知らせください（宛先：kondo@fhw.oka-pu.ac.jp）。書評対象は、近年、学会員がご執筆された①日仏社会学、②フランス社会（社会思想史を含む）、③日仏社会の比較に関する著書、翻訳書（共著、共訳可）です。自薦、他薦のどちらも受け付けております。

4. 『日仏社会学会年報』（第23号）への投稿論文等の募集について

2012年度発行予定の『日仏社会学会年報』（第23号）への論文等の投稿を、以下の要領で募集いたします。『日仏社会学年報』（第23号）から、査読から掲載決定まで時間を要する場合がありますので、査読と修正期間に余裕をもたせるため、投稿原稿の締め切りを8月31日から3月31日に変更することが理事会にて決定されました。ただし、経過措置として、第23号に限っては、締め切り日を2回設けます。

- 1) 原稿締め切り：2012年3月31日（第1回締め切り）、8月31日（第2回締め切り）

原則としていずれかの締め切りに一回投稿できるが、3月末日の締め切りに投稿することがのがぞましい。

- 2) 原稿送付先：〒719-1197 岡山県総社市窪木111 岡山県立大学保健福祉学部

近藤理恵宛（『日仏社会学会年報』編集事務局）

電話0866-94-2192 e-mail:kondo@fhw.oka-pu.ac.jp

- 3) 投稿規定

1) 本誌に発表する論文等は、(1) フランス社会学に関するもの、(2) フランス社会（社会思想史を含む）に関するもの、(3) 日仏社会の比較研究に関するもののうち未発表のものに限る。

- 2) 使用言語は日本語、フランス語、または英語のいずれかとする。
- 3) 論文は 400字詰め原稿用紙換算50枚程度
(図表等を含め約20,000字。フランス語または英語の場合は約5,000語)
- 4) 研究ノートは 400字詰め原稿用紙換算30枚以内
(図表等を含め約12,000字。フランス語または英語の場合は約3,000語)
- 5) 資料紹介、書評および内外研究動向は 400字詰め原稿用紙換算20枚以内。
(約8,000字。フランス語または英語の場合は約2,000語)
- 6) 論文、研究ノートには仏文または英文タイトルを付し、論文には 300語以内の仏文または英文の要約、研究ノートには 200語以内の仏文または英文の要約を添付する。
- 7) 原稿はワープロ原稿とし、打ち出し原稿 3部にCD-Rを添えて、簡易書留にて送付のこと。なお、原稿を送付する際に、著者名(英文付記)と所属、著者の連絡先(住所、電話、ファックス、Eメールアドレス)を書いた用紙1枚も送付のこと。
- 8) 図表については版下作製に別途費用を要する場合には実費負担とする。
- 9) 引用文献等の記述形式は以下のとおりとする。
 - ・ 本文には注の番号のみを記載し、引用文献、参考文献等は末尾に置く。
 - ・ 著書の場合には、著者名、書名、出版社名、出版年、引用頁を記載する。
 - ・ 論文の場合には、執筆者名、論文名、掲載誌名、巻号、発行機関、発行年、引用頁を記載する。
- 10) 投稿論文等については、編集委員会が委嘱する審査委員による審査を行い、審査結果に基づいて掲載の可否を決定する。審査委員が指示した論文等の修正が出版期日に間に合わなかった場合、その審査は次年度に継続される。
- 11) 本誌に掲載された論文等の著作権は、本学会に属するものとする。ただし、著者が後日、自分の論文等を著書等に編集する場合は原則としてこれを認め、著作権料を徴収しないものとする。

5. 「日仏社会学会奨励賞」候補の募集

「日仏社会学会奨励賞」の候補を下記の要領で募集します。自薦他薦を問いませんので積極的に推薦をお願いします。

◇本賞の対象◇

- 1) 候補者の資格： 本賞の対象者は、日仏社会学会の会員であり、かつ論文に関しては発行時において大学院修士課程入学後13年以内、著書(翻訳書を含む)に関しては18年以内の者とする。
- 2) 対象となる業績： 原則として当該年度(2012年)の前年(2011年1月1日～12月31日)において出版された、日仏社会学及び日仏に関連づけられた研究についての著書、論文及び翻訳書のうち著者の申請または推薦者以外の会員及び候補者推薦委員によって推薦された研究業績とする。
- 3) 推薦の締め切り： 2012年3月31日(必着)で、対象となる出版物1部と推薦書を事務局宛に提出してく

ださい。(※推薦書の統一的な書式はありませんが、A4ワープロ用紙に、候補者の氏名、連絡先、生年月日、所属、略歴と業績、対象出版物の書名を記載してください。)

事務局：〒 662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155

関西学院大学人間福祉学部内（山泰幸 研究室）

- 4) 受賞者の選考： 当該年度の理事の中から互選された候補作推薦委員3名と、候補作審査委員3名をもって構成される日仏社会学会奨励賞選考委員会において選考し、理事会で決定する。
- 5) 公表・表彰： 『日仏社会学会ニュース』『日仏社会学会年報』などで公表し、総会において表彰される（賞状と記念品）。

6. 新入会員の紹介

中津匡哉（パリ第七大学博士課程）

7. 会費納入のお願い

2011年度会費を納入下さいますようお願いいたします。2008、2009、2010年度会費未納の方は、これも併せてご納入下さい。なお、会費は5,000円（院生会員は3,000円）です。同封の振替用紙にて宜しくお願いいたします。

日仏社会学会事務局

〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155

関西学院大学人間福祉学部内（山泰幸研究室）

TEL/FAX 0798-54-6953, nichifutsusocio@gmail.com

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/sjfs/>

郵便振替口座 00960-6-278804 口座名 日仏社会学会